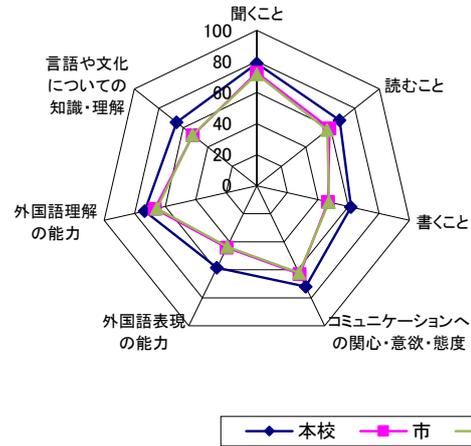


# 宇都宮市立星が丘中学校 第2学年【英語】分類・区分別正答率

## ★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	聞くこと	78.7	72.8	71.8
	読むこと	67.6	59.4	57.5
	書くこと	61.7	46.6	47.3
観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	72.0	63.0	62.2
	外国語表現の能力	58.6	44.2	43.6
	外国語理解の能力	73.5	66.8	65.4
	言語や文化についての知識・理解	65.4	52.3	52.5



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	○正答率は県を6.9%、市を5.9%上回り、設問別では、「対話文の内容を聞き取り、適切に回答する」部分が県や市の平均を大きく上回っている。 ●概要をとらえることはできていても、細部の理解があいまいになっていることがあり、より正確な聞き取りが必要である。	・授業でのオーラルイントロダクションを効果的にしながら、聞きとる力を伸ばしていく。 ・ALTを授業の中で効果的に活用し、ネイティブの発音に慣れさせると共に、コミュニケーション能力を高めていく。
読むこと	○正答率は県を10.1%、市を8.2%上回っており、設問別では「語形・語法の知識・理解」において約70%の正答率となっており、県を10%ほど上回っている。 ●設問別に見てみると、「英文の読み取り」の正答率は県・市を上回っているものの、50%以下になっている部分もある。読みとった内容を活用することに課題がある。	・教科書以外の教材を活用しながら、まとまりのある英文の要点をつかませる力を継続的に育てていく。 ・長文に対する苦手意識の強い生徒が多い現状がある。段階的に英文の量を増やしながら、英文の読解に慣れさせていく。 ・読みとった内容を活用し、発信できるようにするため、日頃から複数技能を統合した授業を行うことを意識する。
書くこと	○正答率は県を14.4%、市を15.1%上回っている。設問別では特に「3文以上の英作文」において、県の正答率を約20%上回っている。 ●他の領域と比較すると、全体的に正答率が低くなっている。特に、「場面に応じて書く英作文」では30.7%、46.2%と低い正答率となっている。	・単文からまとまりのある英文へと段階的な指導を行い、書くことにおける表現力を高めていく。 ・自分にとって書きやすいテーマで書くことだけでなく、与えられた流れに沿うよう表現する力も必要である。限られた時間の中ではあるが、様々な英作文の練習を取り入れていきたい。